
 本学におけるFD活動の一環として実施しています「授業アンケート」へのご理解とご協力を感謝申し上げます。
 今回のFDニュースでは、2021年度教育学部後期授業アンケート結果について報告いたします。

2021年度教育学部後期授業アンケートについて

1. 調査の概要

実施期間：2022年1月13日（木）～2月3日（木）

対象科目：受講登録者6名以上の全授業科目

対象科目数：359 実施科目数：130（未回収228、全白紙1 実施率36.2%）

実施科目のべ履修者数：4,470名 有効回答数：3,375名（有効回答率75.50%）

2021年後期のアンケート実施率は36.2%でした。アンケート実施期間が新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出されていた期間と重なっていたため低調となりました。これは2020年後期と同様です。一方で、実施科目における有効回答率（有効回答者数÷実施科目履修者数）は75.5%でした。（図1）

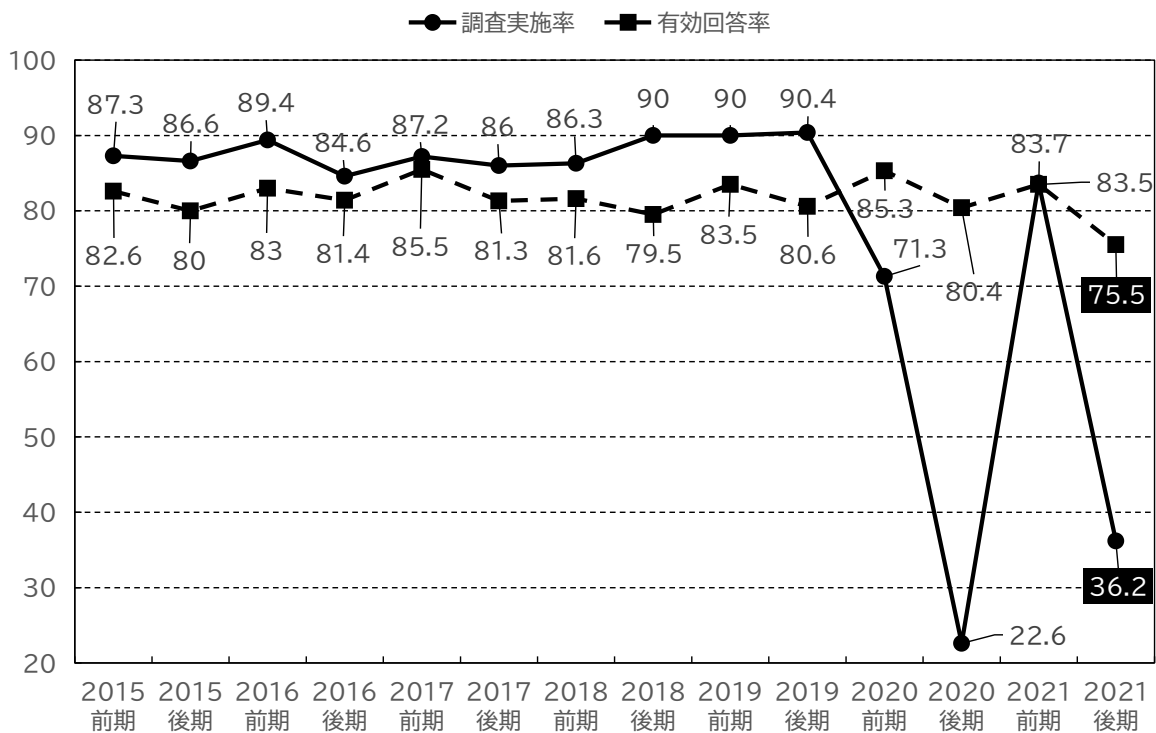


図1 授業アンケートの実施率と有効回答率の変遷 (2015年～2021年)

2. 結果の概要

(1) 【Q1. 授業を選択した動機】について

当該科目を受講した動機は、「必修だから」が71.0%と最も多く、次に「興味・関心」が21.6%と続いています。近年の授業アンケートの結果と比較して、受講動機の傾向は変化していないようです。（図2）

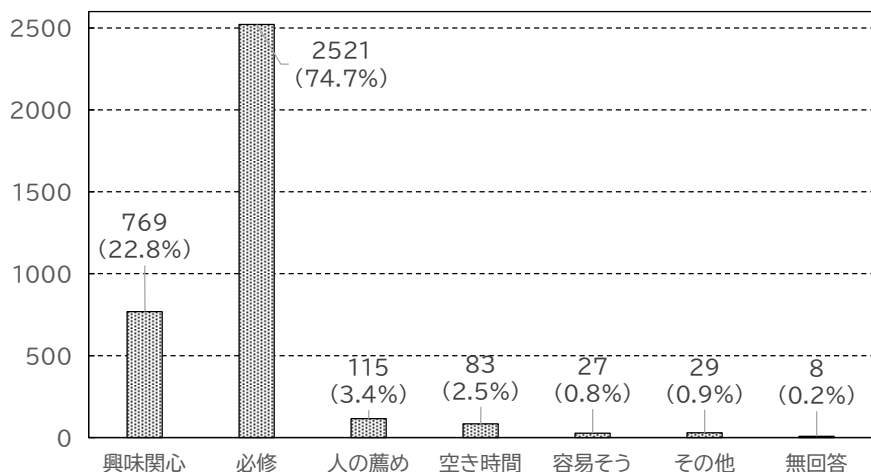


図 2 受講動機の内訳 ※複数選択可能な項目であるので、母数を回答総数でなく回答者人数とした

(2) Q2～Q15 の結果について

Q2 から Q15 までの項目について、各項目の回答を図 3 および図 4 に示しています。図 3 の濃い色の左 2 つの回答が肯定的回答、薄い色の右 2 つが否定的回答です。図 4 は肯定的回答・否定的回答の分類に馴染まないため別図としました。例年のアンケート結果と同様に概ね肯定的な回答となる傾向でした。

2021 年後期も新型コロナウイルス感染症の影響により、遠隔と対面授業を交えた形態となりました。【Q7. 授業の満足度】の項目を見ると「満足・やや満足」の回答割合は 94.2%と高い数値になりました。2021 年前期は 90.4%、2020 年後期は 91.1%です。

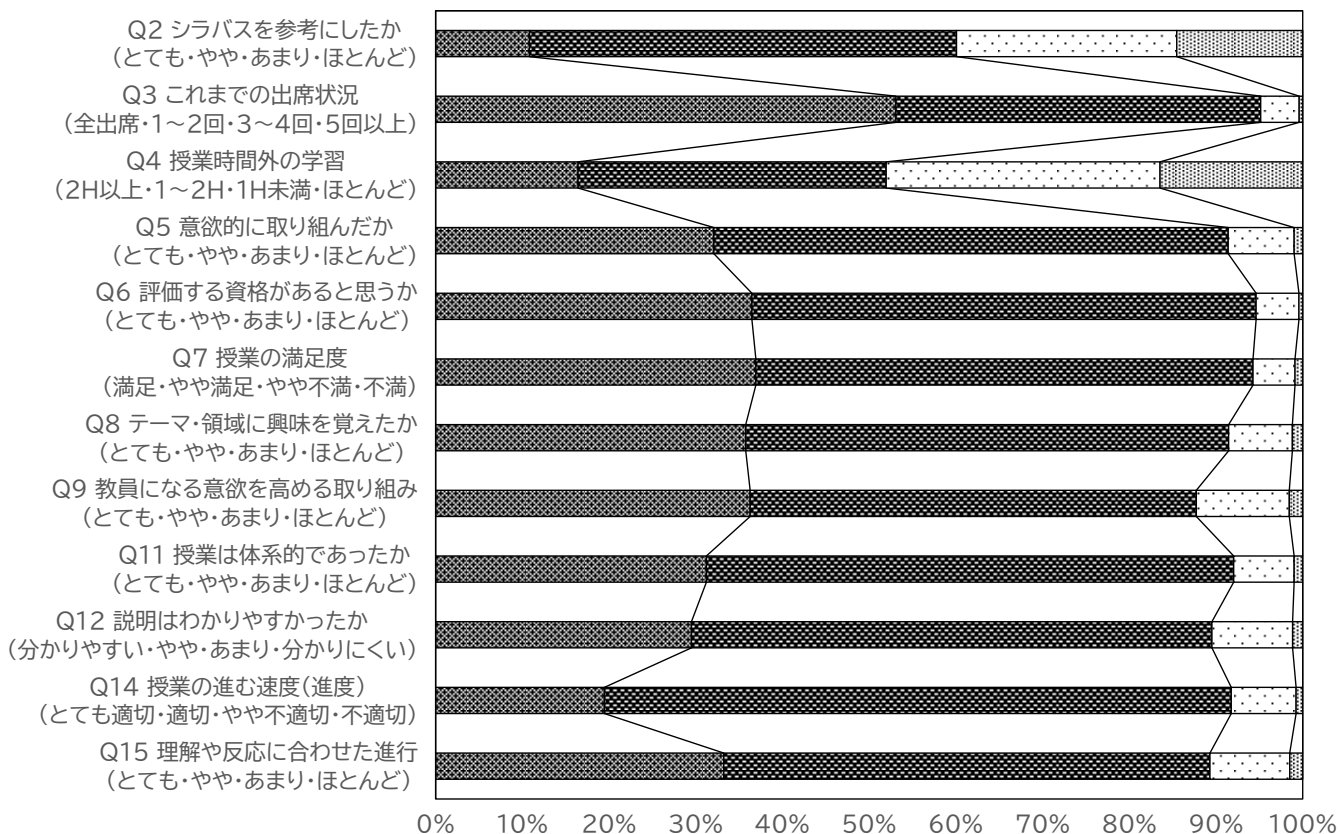


図 3 質問項目 (Q2～Q15) の回答の内訳 ※Q10 および Q13 については別図

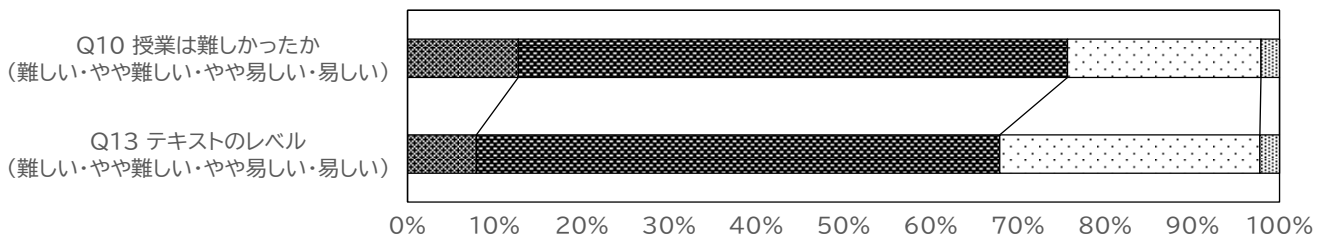


図4 質問項目 (Q10およびQ13) の回答の内訳

多くの項目で 90%を越える肯定的回答となっていますが、【Q2. シラバスを参考にしたか】では「とても・やや」の回答が60.1%、【Q4. 授業時間外の学習】では「2H以上・1H~2H」の回答が52.0%と課題が残る結果となりました。2021年前期は【Q2. シラバスを参考にしたか】の「とても・やや」の回答が61.3%、【Q4. 授業時間外の学習】の「2H以上・1H~2H」の回答が57.9%であり、2020年後期は【Q2. シラバスを参考にしたか】の「とても・やや」の回答が58.0%、【Q4. 授業時間外の学習】の「2H以上・1H~2H」の回答が47.5%と例年低い数字となっています。

実施率が 36.2%と極端に低いいため、例年の傾向と比較することは難しいのですが、例年の傾向と同様の結果となっていることは指摘しておきたいと思います。

(3) 【Q4. 授業外の学習時間】とその他の質問項目との関係について

2020年度前期より、【Q4. 授業外の学習時間】と他の質問項目のクロス集計を行っています。顕著な差が見られた6項目について平均点をレーダーチャートにしたものが図5です。

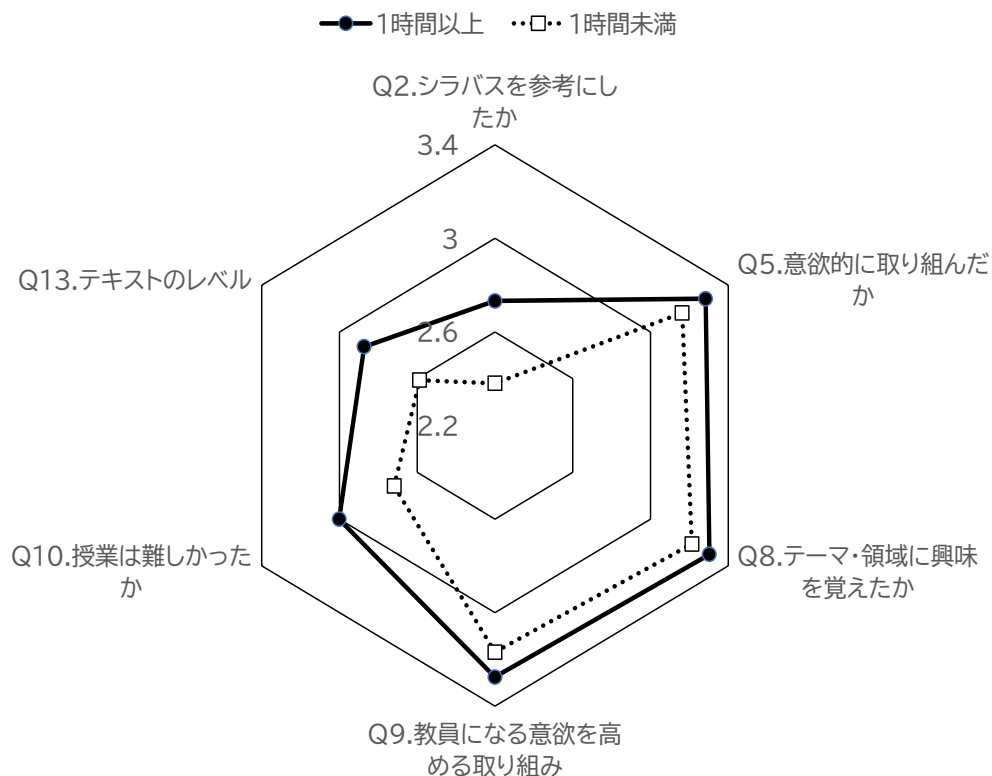


図5 【Q4. 授業外の学習時間】の違いによる平均点の異なり

【Q2. シラバスを参考にしたか】は最も大きな0.35ポイント差が出ており、授業外の学習時間が1時間以上の学生のほうがシラバスを参考にして学習していることがわかります。

【Q5.意欲的に取り組んだか】(0.12ポイント差)、【Q8.テーマ・領域に興味を覚えたか】(0.09ポイント差)、【Q9.教員になる意欲を高める取り組み】(0.11ポイント差)では、わずかですが授業外の学習時間が1時間以上の学生の全体平均が高くなっています。

【Q10.授業は難しかったか】(0.28ポイント差)、【Q13.テキストのレベル】(0.29ポイント差)については、授業外の学習時間が1時間以上の学生の方が「難しい」「やや難しい」と回答している割合が高いことが分かります。2021年前期は【Q10.授業は難しかったか】が0.33ポイント差、【Q13.テキストのレベル】が0.30ポイント差でした。2020年後期は【Q10.授業は難しかったか】が0.21ポイント差、【Q13.テキストのレベル】が0.20ポイント差でした。2020年前期は【Q10.授業は難しかったか】が0.24ポイント差、【Q13.テキストのレベル】が0.19ポイント差でした。いずれも授業外の学習時間を1H以上と回答した学生のほうが、授業を難しいと感じ、またテキストのレベルも難しいと感じています。この点については2020年後期のアンケート分析の際に、「授業の難しさが学生の自主学习を促しているとも、難しさが学生の知的探究心を駆り立てているとも考えられ、正確な理由は判然とはしませんが、適度な難しさは学生の学習意欲を刺激するとも言えるかもしれません。」(FDニュース95より)と考察しています。

FD委員会では今年度もアンケート調査を実施するとともに、授業改善のための研修会を企画しています。今後ともご協力くださいますよう、お願いいたします。

内容について、問い合わせなどがありましたら、下記の委員までお願いいたします。

FD委員会委員：中(委員長)、荻野、東村、西本、寺田
(事務担当：河原田、村田、田中)